

続・アメリカはどこへ向かうのか

—第二次トランプ政権から考える—

2025年

11月8日

(土) 13:00-16:30

明治大学駿河台キャンパス

参加費無料 事前申込制
講座の詳細・申込



トランプ大統領は、第二次トランプ政権発足初日から今日まで、多くの大統領令に署名しました。また、4月に発表されたトランプ関税は、世界の市場に大きな動揺を呼び起こしています。第二次トランプ政権における様々な面での路線の変更が、この政権に特有なものなのか、それともトランプ以降にも引き継がれる歴史的転換なのか…。

昨年に引き続き、3名の識者がそれぞれの見解について講演します。



海野素央

政治経済学部教授

杉田弘毅

共同通信客員論説委員
明治大学特任教授

藤森浩樹

横浜国立大学講師
明治大学講師

井田正道

政治経済学部教授
コーディネーター

高山裕二

政治経済学部教授
総合司会

社会科学研究所×リバティアカデミー連携講座



続・アメリカはどこへ向かうのか

——第二次トランプ政権から考える——

日時 2025年11月8日（土）13:00-16:30
会場 明治大学駿河台キャンパス
東京都千代田区神田駿河台1-1

※会場の詳細は、前日までにホームページでお知らせします。

登壇者



海野 素央 明治大学政治経済学部教授

心理学博士。アメリカン大学（ワシントンD.C.）異文化マネジメント研究所元客員研究員。専門は異文化間コミュニケーション論、異文化マネジメント論。08年と12年米大統領選挙で研究の一環として日本人で初めてオバマ陣営にボランティアの草の根運動員として参加。激戦州南部バージニア州などで4200軒の戸別訪問を実施。16年米大統領選挙ではクリントン陣営に入る。20年民主党大統領候補指名争いではバイデン・サンダース両陣営で戸別訪問を実施。著書に「オバマ再選の内幕」（同友館）など多数。ウエッジオンラインに連載中。



杉田 弘毅 共同通信客員論説委員 明治大学政治経済学部特任教授

一橋大学卒業後、共同通信社でソ連・中東移動特派員、テヘラン支局長、ニューヨーク特派員、ワシントン支局長、論説委員長など歴任。2022年から明治大学特任教授。ブッシュ(米)、プーチン(ロシア)両大統領らをインタビュー。日本記者クラブ賞受賞。BS朝日「日曜スクープ」アンカー、フォーリン・プレスセンター評議員も務める。『アメリカはなぜ変わるのか』（ちくま新書）、『入門 トランプ政権』（共同通信社）、『アメリカの制裁外交』（岩波新書）、『国際報道を問いなおす』（ちくま新書）など著書多数。



藤森 浩樹 横浜国立大学教育学部非常勤講師 明治大学商学研究科兼任講師

国際基督教大学卒。北海道拓殖銀行、国際金融情報センターを経て三井物産戦略研究所。2003年から現職。2008～2009年シンガポールの東南アジア研究所客員研究員。アジア政経学会会員。共著として『アジアを見る眼-三井物産戦略研が読み解く経済の行方-』（共同通信社、2012年）、『新・アジア経済論-中国とアジア・コンセンサスの模索』（文眞堂、2016年）、『アジア経済論』（文眞堂、2022年）がある。



コーディネーター

井田 正道 明治大学政治経済学部教授

1960年東京都生まれ。早稲田大学商学部卒、明治大学大学院政治経済学研究科博士後期課程単位取得退学。日本学術会議連携会員。日本政治学会・日本選挙学会・日本政治総合研究所理事。近著として『アメリカ分裂—数字から読みとく大統領選挙—』明治大学出版会、『日本政治の展開』北樹出版、がある。



総合司会

高山 裕二 明治大学政治経済学部教授

1979年生まれ。博士（政治学）。主な著作に、『トクヴィルの憂鬱—フランス・ロマン主義と〈世代〉の誕生』（白水社、2012年、サントリー学芸賞受賞）、『ロベスピエール—民主主義を信じた「独裁者」』（新潮社、2024年）、『フランス知と戦後日本—対比思想史の試み』（共編著、白水社、2024年）ほか。翻訳に、C・ミュデ&C・R・カルトワッセル著『ポピュリズム—デモクラシーの友と敵』（共訳著、白水社、2018年）などがある。